

広島大学大学院  
放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム  
第4回リトリートを開催しました

平成27年1月9日（金）～10日（土）に、プログラム学生、教職員及び招へい講師の合計45名が参加して第4回リトリートを安芸グランドホテル(広島県廿日市市)にて開催しました。

初めに岡本哲治プログラム責任者から開会挨拶があり、続いて文部科学省研究開発局原子力課長増子宏氏から「将来における原子力エネルギー研究開発」という演題にて講演が行われ、放射線災害復興を推進するグローバルリーダーを目指すプログラム学生はもとより教職員にとっても非常に重要な学修機会となりました。その後、学生による国際シンポジウム事前プレゼンテーションを行いました。

2日目には、前日に引き続き国際シンポジウム事前プレゼンテーションがあり、学生の語学力の向上も確認しました。また、「学問とリーダーシップ」というテーマに沿って、グローバルリーダーとしての発表力を向上させる機会となりました。その後、プログラム担当の土田孝教授、高橋秀治特任准教授の研究紹介があり、第3回目の学生・教員意見交換会を行って終了しました。

文部科学省原子力課 増子 宏課長 講演



学生のプレゼンテーションの様子1



学生のプレゼンテーションの様子2



全体写真

